

永井政之先生 略歴及び業績

略歴

1 修学

- 一九四六年 十月五日 群馬県に生る
- 一九四五年 三月 群馬県立渋川高等学校卒業
- 一九六五年 四月 駒澤大学仏教学部禅学科入学
- 一九六九年 三月 駒澤大学仏教学部禅学科卒業
- 一九六九年 四月 駒澤大学大学院人文科学研究科仏教学専攻修士課程入学
- 一九七一年 三月 駒澤大学大学院人文科学研究科仏教学専攻修士課程修了
- 一九七一年 四月 駒澤大学大学院人文科学研究科仏教学専攻博士課程入学
- 一九七四年 三月 駒澤大学大学院人文科学研究科仏教学専攻博士課程満期退学
- 一九七八年 三月 『中国仏教の文化史的研究—中国禅宗教団と民衆』で博士（仏教学）の学位取得

2 職歴

【駒澤大学関係】

- 一九八四年 四月 駒澤大学仏教学部講師として着任
- 一九八八年 四月 駒澤大学仏教学部助教授に昇任
- 一九九五年 四月 駒澤大学仏教学部教授に昇任

- 一九九八年 四月 駒澤大学仏教学部禅学科主任(二〇〇四年三月まで)
二〇〇一年 四月 駒大仏教経済研究所副所長(二〇一三年三月まで)
二〇〇四年 四月 駒澤大学仏教専修科科长
二〇〇五年 四月 駒澤大学大学院人文第一研究科仏教学専攻委員長(二〇〇九年三月まで)
二〇〇九年 四月 駒澤大学仏教学部長・大学評議員・理事(二〇一三年三月まで)
二〇一三年 四月 駒澤大学禅文化歴史博物館館長(二〇一七年三月まで)
この間、立正大学、大正大学の非常勤講師

【宗門関係】

- 一九七九年 四月 曹洞宗宗学研究所幹事(一九八〇年三月まで)
一九七九年 五月 曹洞宗香語集編纂委員会 編纂員
一九八〇年 四月 曹洞宗研究員
一九八〇年 四月 曹洞宗宗学研究所所員(一九八四年三月まで)
一九八六年 四月 曹洞宗宗学研究所幹事
一九八七年 六月 曹洞宗宗勢伸張のあゆみ編纂委員
一九八七年 九月 曹洞宗仏事研究会委員
一九八九年十一月 大本山總持寺人權問題専門委員会委員(二〇〇五年まで)
一九九六年 四月 曹洞宗現代教学センター 常任研究員(一九九九年三月まで)
一九九六年十一月 曹洞宗寺族通信教育委員会委員(現在まで)
一九九七年 六月 良珊寺(群馬県) 住職
一九九九年 四月 曹洞宗総合研究センター宗学研究部門主任研究員(二〇〇五年三月まで)
二〇〇一年 四月 曹洞宗文化財調査委員会委員(現在まで)

- 二〇〇五年 四月 曹洞宗総合研究センター現代教学部門主任研究員（二〇〇八年三月まで）
 二〇〇八年 四月 曹洞宗総合研究センター客員研究員（二〇一四年三月まで）
 二〇一五年 四月 曹洞宗総合研究センター委託研究員（現在まで）

業績一覧

【著書】

- 二〇〇〇年 三月 『中国禅宗教団と民衆』 内山書店
 二〇〇八年 五月 『雲門―立て前と本音のはざまに生きる』 唐代の禅僧第一巻 臨川書店

【編集解題】

- 一九八一年 四月 『曹洞宗選書』 卷五、八、二〇（編集解題） 同朋舎
 一九八三年 七月 『禅籍善本古注集成 従容録』（編集解題） 名著普及会
 一九九〇年 九月 『曹洞宗教義法話大系 第四卷 中国の祖師』（共編） 同朋舎
 一九九五年 四月 『道元思想大系 一六 道元と仏教諸宗』（編集解題） 同朋舎
 一九九六年 一月 『独庵護法集』（編集解題） 至言社

【監修】

- 二〇〇四年一月～二〇一一年十月 『訓註曹洞宗禅語録全書 中世篇』 二、六、八、九、一〇 四季社
 二〇一六年 七月 『ふっと心がかかるくなる禅の言葉』 永岡書店
 二〇一一年 十月 『ブツダ いのちの言葉』 永岡書店

【論文】

- 一九七一年 三月 「雲門の語録の成立に関する一考察」『宗学研究』一三
一九七一年 三月 「雲門文偃伝」『駒澤大学大学院仏教学研究会年報』五
一九七一年十二月 「雲門十二時偈に関する一考察」『印度学仏教学研究』二〇―一
一九七二年三月～一九七四年三月
「雪竇の語録の成立に関する一考察（一）～（三）」『駒澤大学大学院仏教学研究会年報』六～八
「雪竇頌古の展開について」『印度学仏教学研究』二二―一
「祖庭事苑の基礎的研究」『駒澤大学仏教学部論集』四
「圓悟心要の成立に関する一考察」『印度学仏教学研究』二三―一
「五灯会元統略の成立について」『印度学仏教学研究』二四―一
「曹洞禅者と高山少林寺」『宗学研究』一八
「万松行秀考」『宗学研究』五〇―三
「曹洞禅者と泰山靈巖寺」『印度学仏教学研究』二五―一
「万松行秀の禅とその周辺」『宗学研究』一九
「万松行秀と耶律楚材」『曹洞宗研究員研究生研究紀要』九
「元代の曹洞禅者達」『印度学仏教学研究』二六―一
『慧能研究』（駒澤大学禅宗史研究会編 共同研究・分担執筆）（大修館書店）
一九七八年 三月 「東臯心越の来朝をめぐる諸問題」『宗学研究』二〇
一九七八年八月、一九七九年八月
「祇園寺蔵、新出覚浪道盛『尊正規』について（一）（二）」『曹洞宗研究員研究生研究紀要』一〇、一一
一九七八年十二月 「東臯心越とその派下の人々」『印度学仏教学研究』二七―一
一九七九年 三月 「寿昌清規の成立とその周辺」『宗学研究』二一

- 一九七九年十二月 「東臯心越研究序説」『禪宗の諸問題』（雄山閣）所収
- 一九七九年十二月 「万松行秀考」（駒大）中国仏蹟見聞記 一
- 一九七九年十二月 「明末に生きた禪者達」『駒大宗教学論集』九
- 一九七九年十二月 「東臯心越と日本の禪者達」『印度学仏教学研究』二八—一
- 一九八〇年 三月 「燕京寺刹考」『宗学研究』二二
- 一九八〇年 八月 「覚浪道盛伝考」『曹洞宗研究員研究生研究紀要』一二
- 一九八〇年 十月 「茨城県祇園寺」（調査報告）『禪宗地方史調査会年報』二
- 一九八〇年十二月 「曹洞宗寿昌派の盛衰」『印度学仏教学研究』二九—一
- 一九八一年 一月 「万松行秀の伝記をめぐる諸問題」『飯田利行博士古稀記念論文集』（国書刊行会）所収
- 一九八一年三月、一九八二年三月 「独庵玄光をめぐる諸問題（一）（二）」『宗学研究』二三、二四
- 一九八一年 三月 「独庵玄光について」『印度学仏教学研究』三〇—一
- 一九八一年七月—一九八四年十二月 「南宋禅林と中国の社会風俗（一）—（四）」『曹洞宗研究員研究生研究紀要』一三—一六
- 一九八一年 十月 「慧林宗本とその所住地をめぐる諸問題」（駒大）中国仏蹟見聞記 二
- 一九八二年 八月 「洞山」雑考」（駒大）中国仏蹟見聞記 三
- 一九八二年 九月 「禅宗と葬儀」『宗教と現代』九月号
- 一九八二年十二月 「従容録をめぐる諸問題」『印度学仏教学研究』三二—一
- 一九八三年 三月 「明清における曹洞禅者の動向」『宗学研究』二五
- 一九八三年 八月 「南岳南台寺考」（駒大）中国仏蹟見聞記 四
- 一九八四年 八月 「二つの雲巖—江西と湖南」（駒大）中国仏蹟見聞記 五
- 一九八四年十月、一九八五年十月

- 一九八五年 三月 『南宋における一居士の精神生活(一)(二)』『駒澤大学仏教学部論集』一五、一六
- 一九八五年 八月 『中国禪の職業観―如居士顔丙の場合』『宗学研究』二七
- 一九八五年 八月 『天皇道悟と天皇寺』(駒大) 中国仏蹟見聞記 六
- 一九八五年 十月 『鈴木哲雄』唐五代の禪宗(書評紹介) 『駒澤大学仏教学部論集』一六
- 一九八五年十二月 『中国禪の民衆教化』『印度学仏教学研究』三四―一
- 一九八六年 三月 『中国民衆の菩薩観―普庵印肃の場合』『日本仏教学会年報』五一
- 一九八六年 八月 『雪竇山資聖寺考』(駒大) 中国仏蹟見聞記 七
- 一九八六年十一月 『中国における国家と宗教』『禅学研究』六五(花園大学)
- 一九八七年 三月 『南宋臨安府明慶寺考』『仏教文化の諸相』(桜井秀雄博士古稀記念論文集刊行会) 所収
- 一九八七年 八月 『地藏信仰と九華山』(駒大) 中国仏蹟見聞記 八
- 一九八七年 十月 『曹洞宗寿昌派の成立と展開』『駒澤大学仏教学部論集』一八
- 一九八七年十二月 『五辛文書私考』『印度学仏教学研究』三六一―
- 一九八八年 五月 『「正法眼蔵随聞記」をめぐる研究動向』『正法眼蔵随聞記の研究』(溪水社) 所収
- 一九八八年 十月 『南宋における仏教信仰の一側面』『駒澤大学仏教学部論集』一九
- 一九八八年十二月 『破戒と超俗』『中国の仏教と文化 鎌田茂雄博士還暦記念論集』(大蔵出版) 所収
- 一九八九年三月―一九九四年三月
- 一九八九年 十月 『社会主義中国の宗教政策―抄訳』『中国社会主義時期的宗教問題』(一)―(五) 『駒澤大学仏教学部研究紀要』四七、四八、五〇、五一、五二
- 一九八九年 十月 『元明代の禅宗史研究の研究状況と問題点』『駒澤大学仏教学部論集』二〇 のち田中良昭監修『禅学研究入門』(一九九四年七月 大東出版社) に収録
- 一九九〇年 三月 『韶関大鑑寺考―韶州大梵寺との関係めぐって』『宗学研究』三三
- 一九九〇年 八月 『成都昭覺寺私考』(駒大) 中国仏蹟見聞記 一〇

- 一九九〇年 十月 「中国仏教成立の一側面―茶毘と木乃伊をめぐる試論」『駒澤大学仏教学部論集』二二
- 一九九一年 十月 「仏教団の成立と生活」『講座 仏教の受容と変容 中国編』（佼成会出版社）所収
- 一九九一年 十月 「中国仏教成立の一側面―万廻信仰をめぐる試論」『駒澤大学仏教学部論集』二二
- 一九九一年十二月 「広東の仏教信仰―雲門文偃末期の事蹟」『印度学仏教学研究』四〇―一
- 一九九二年 三月 「新出『船子和尚撥棹歌』について」『宗学研究』三四
- 一九九二年 十月 「中国仏教成立の一側面―裁松道者の話の成立と展開」『駒澤大学仏教学部論集』二二三
- 一九九三年 六月 「布袋信仰と中国の禅宗教団」『宗教研究』六七―一
- 一九九三年 七月 「曹洞宗宏智派の成立とその展開」『道元思想のあゆみ 2』（吉川弘文館）所収
- 一九九三年 七月 「曹洞宗寿昌派の伝来とその盛衰」『道元思想のあゆみ 3』（吉川弘文館）所収
- 一九九三年 七月 「中国禅の性格」『人生と宗教 西村恵信教授還暦記念文集』（禅文化研究所）所収
- 一九九四年 十月 「傅大士と輪蔵」『宗学研究所紀要』八
- 一九九四年 十月 「中国仏教成立の一側面―三仏忌の成立と展開」『駒澤大学仏教学部論集』二二五
- 一九九五年 十月 「中国仏教成立の一側面―中国禅宗における葬送儀礼の成立と展開」『駒澤大学仏教学部論集』二二六
- 一九九五年十一月 「独庵玄光と中国禅―ある日本僧の中国文化理解」『独庵玄光と江戸思潮』（べりかん社）所収
- 一九九六年 七月 「三平義忠考―現地の資料によってその信仰の成立と展開を考える」『駒大宗教学論集』一九
- 一九九六年 十月 「仏教団の経済倫理」『東アジア社会と仏教文化』（春秋社）所収
- 一九九六年 一月 「香港のミイラ信仰―沙田万仏寺月溪心円のミイラの紹介」『中村璋八博士古稀記念 東洋学論集』（汲古書院）所収
- 一九九七年 八月 「定光仏信仰研究試論」『日本仏教学会年報』六二二
- 一九九八年 十月 「中国仏教成立の一側面―定光仏信仰の成立と展開」『駒澤大学仏教学部論集』二一九
- 二〇〇一年 三月 「中国の仏教と民衆―清水祖師信仰研究メモ」『聖巖博士古稀記念論集 東アジア仏教の諸問題』（山喜房佛書林）所収

- 二〇〇二年 三月 『夷堅志』にあらわれた仏教』『宗教研究』七五―四
- 二〇〇二年 三月 『一子出家、九族生天』私考』『宗学研究紀要』一五
- 二〇〇二年 三月 『中国人が理解した仏教―禅』『愛知学院大学禅研究所紀要』三〇
- 二〇〇二年十一月 『烏薊沙摩明王信仰研究試論―中国民衆の捉えた仏教』『宋代禅宗の社会的影響』（山喜房佛書林）所収
- 二〇〇三年 三月 『孝服と禅僧―『禅苑清規』尊宿喪法をめぐる』『田中良昭博士古稀記念論集―禅学研究の諸相』（大東出版社）所収
- 二〇〇三年 三月 『族譜と灯史』私考』『駒大宗教学論集』二二一
- 二〇〇四年 三月 『中国民衆の「金剛経信仰」研究試論―慧義寺神清の場合』『駒大宗教学論集』二二三
- 二〇〇四年十二月 『薦福承古考』『印度学仏教学研究』五三一―
- 二〇〇五年 一月 『金剛経』信仰私考―『持誦金剛経靈験功德記』をめぐる』『竹貫元勝博士還暦記念 禅とその周辺学の研究』（永田文昌堂）所収
- 二〇〇五年 一月 『宗学研究部門考』『宗学研究紀要』一八
- 二〇〇五年 六月 『輪藏再考―河北省大仏寺の輪藏にちなんで』『村中祐生先生古稀記念論文集 大乘仏教思想の研究』（山喜房佛書林）所収
- 二〇〇五年 七月 『中国仏教成立の一側面―雲居山開創と安樂神説話』『小林圓照博士古稀記念論集 仏教の思想と文化の諸相』（花園大学禅学研究会）
- 二〇〇五年 四月 『研究報告』『伝光録』における「旃陀羅」について―瑩山禅師の人間観』（分担執筆） 大本山総持寺人権問題専門委員会編

二〇〇六年十月―二〇一六年十月

『宋会要』道积部訓注（一）―（一一）監修・分担執筆『駒澤大学仏教学部論集』三七―四七

二〇〇六年十二月
「元明清代における中国仏教研究の動向」岡部和雄・田中良昭編『中国仏教研究入門』（大蔵出版）所収

二〇〇八年 三月
「持戒者としての僧侶―現代仏教倫理の構築」『僧侶―その役割と課題』（曹洞宗宗務庁）所収

二〇〇八年 三月
「僧侶と儀礼」『僧侶―その役割と課題』（曹洞宗宗務庁）所収

二〇〇八年 四月
「雲門禪再考」『宗学研究』五〇

二〇一二年 二月
「東臯心越をめぐる諸問題―『覺世真経』の将来」『日本近世における中国白話小説受容についての基礎研究（代表笹倉一広・平成一九年度～二二年度・科研費基盤研究B・報告書）』

二〇一二年 三月
「高羅佩と東臯心越―『東臯禪師集刊』の刊行をめぐる」『駒澤大学仏教学部研究紀要』七〇

二〇一三年 三月
「東臯心越と閔帝信仰―『覺世真経』と金印の将来」『駒澤大学仏教学部研究紀要』七一

二〇一五年 三月
「東臯心越事蹟考」『駒澤大学仏教学部研究紀要』七三

二〇一五年 五月
「東臯心越伝再考」『駒澤大学大学院仏教学研究会年報』四八

二〇一五年 十月
「概説東臯心越伝」駒澤大学歴史博物館企画展図録『東臯心越と水戸光圀』所収

二〇一六年 三月
「東臯心越末期の事実」『宗学研究紀要』二八・二九合併号

二〇一六年 七月
「龍雲寺所蔵『東臯心越語録』の紹介」『駒澤大学歴史博物館紀要』創刊号

二〇一七年 三月
「東臯心越研究札記」『駒澤大学仏教学部研究紀要』七五

【宗門関係 その他】

一九八一年 六月
「禪と浄土」「仏教と中国思想」「禪寺の伽藍と生活」『禪の源流』（總持寺出版部）（分担執筆）

一九八二年 九月
「曹洞宗と仏具」鎌倉新書『仏具大事典』（分担執筆）

一九八七年十二月
「現代中国における仏教を知るために」『世界の仏教』（竹頭社）所収

一九八九年 十月
「上海滞在顛末記」『駒澤大学仏教学部論集』二〇

一九九〇年
「中国の釈迦信仰」大法輪選書『お釈迦さま百科』所収

- 一九九一年 六月 『曹洞宗宗勢のあゆみ』（曹洞宗宗務庁）（分担執筆）
- 一九九二年 『達磨さま』『曹洞宗の教えとこころ』A-2（同朋舎）
- 一九九三年 『宗門の葬祭をめぐるレポート』『現代教学研究会報告』（曹洞宗）
- 一九九三年 六月 『フォトグラフ中国曹洞禅―祖師の古蹟をたずねて』（曹洞宗宗務庁）（分担執筆）
- 一九九四年 『はるかなる中国禅』『禅の友』五三三号～五四四号（曹洞宗宗務庁）
- 一九九七年 『中国の禅宗史蹟を歩く1、2、3、4』『雑誌中国語』（内山書店）
- 一九九五年～一九九八年 『玄奘三蔵の旅』全三六回『てらスクール』（曹洞宗宗務庁）
- 二〇〇〇年 七月 『仏教と葬式』曹洞宗総合研究センター設立記念オープンフォーラム（二〇〇〇年三月）「なぜ葬式・法事は大切なのか」『曹洞宗報』七七八号別冊
- 二〇〇一年 三月 『〈問題提起に込めてI〉宗学と現代』シンポジウム「宗学との対話」『宗学と現代』四（曹洞宗総合研究センター）
- 二〇〇一年 十月 『お布施のこころ―ダルマと武帝』『禅の友』六二六号（曹洞宗宗務庁）
- 二〇〇四年 六月 『達磨随想』『禅の風』二八号（曹洞宗宗務庁）
- 二〇〇八年十一月 『柳田先生、雲門も「異類中行」の人ではなかったでしょうか?』『柳田聖山先生追悼文集』（柳田聖山先生追悼文集刊行会）
- 二〇〇八年十一月 『中国仏蹟参観と私』『祝祷文化講演集』（駒澤大学）一四
- 二〇〇九年 一月 『禅語百選―七字の禅語』『大法輪』
- 二〇一四年 五月 『吉津宜英前所長への挽歌』『仏教経済研究』四三三

〔曹洞宗文化財調査委員会〕

- 二〇〇二年 八月 「文化財調査委員会 調査目録及び解題」二二六 静岡二六七 修善寺『曹洞宗報』八〇三
- 二〇〇三年 二月 「文化財調査委員会 調査目録及び解題」二三〇 静岡二四三 昌溪院『曹洞宗報』八〇九

二〇〇三年	八月	「文化財調査委員会調査目録及び解題」	二三五	静岡四九三	静居寺『曹洞宗報』八一五
二〇〇四年	一月	「文化財調査委員会調査目録及び解題」	二三九	新潟四七三	雲洞庵『曹洞宗報』八二〇
二〇〇四年	六月	「文化財調査委員会調査目録及び解題」	二四三	長野二二七	岩松院『曹洞宗報』八二五
二〇〇四年	八月	「文化財調査委員会調査目録及び解題」	二四五	長野三	大安寺『曹洞宗報』八二七
二〇〇四年	九月	「文化財調査委員会調査目録及び解題」	二四六	長野三	大安寺『曹洞宗報』八二八
二〇〇四年十一月		「文化財調査委員会調査目録及び解題」	二四七	石川一	天徳院『曹洞宗報』八三〇
二〇〇四年十二月		「文化財調査委員会調査目録及び解題」	二四八	石川一五	大乘寺『曹洞宗報』八三一
二〇〇五年	三月	「文化財調査委員会調査目録及び解題」	二五一	長野四〇六	広沢寺『曹洞宗報』八三四
二〇〇五年	八月	「文化財調査委員会調査目録及び解題」	二五五	愛知四八〇	洞雲院『曹洞宗報』八三九
二〇〇六年	八月	「文化財調査委員会調査目録及び解題」	二六三	愛知四九九	乾坤院『曹洞宗報』八五一
二〇〇七年	二月	「文化財調査委員会調査目録及び解題」	二六七	愛知六七五	妙昌寺『曹洞宗報』八五七
二〇〇七年	八月	「文化財調査委員会調査目録及び解題」	二七二	東京九七	宗泰院『曹洞宗報』八六三
二〇〇八年	一月	「文化財調査委員会調査目録及び解題」	二七五	山口三二	観音寺『曹洞宗報』八六八
二〇〇八年	二月	「文化財調査委員会調査目録及び解題」	二七六	山口三二	観音寺(統)『曹洞宗報』八六九
二〇〇八年	七月	「文化財調査委員会調査目録及び解題」	二七九	福井四五	宝慶寺『曹洞宗報』八七四
二〇〇九年	八月	「文化財調査委員会調査目録及び解題」	二八六	愛知二六六	福厳寺(統)『曹洞宗報』八八七
二〇一〇年	二月	「文化財調査委員会調査目録及び解題」	二九一	愛知二六六	福厳寺(統)『曹洞宗報』八九三
二〇一〇年	六月	「文化財調査委員会調査目録及び解題」	二九四	岐阜八〇	龍泰寺『曹洞宗報』八九七
二〇一〇年	七月	「文化財調査委員会調査目録及び解題」	二九五	岐阜八〇	龍泰寺『曹洞宗報』八九八
二〇一一年	三月	「文化財調査委員会調査目録及び解題」	三〇〇	岐阜一六七	正宗寺・岐阜一七二 洞雲寺『曹洞宗報』九〇六
二〇一二年	三月	「文化財調査委員会調査目録及び解題」	三〇五	三重九五	天照寺『曹洞宗報』九一八

二〇一三年 一月	「文化財調査委員会 調査目録及び解題」	三〇九	三重六六	廣禪寺	『曹洞宗報』	九二八
二〇一三年 九月	「文化財調査委員会 調査目録及び解題」	三一三	三重三七四	最明寺	『曹洞宗報』	九三六
二〇一四年 六月	「文化財調査委員会 調査目録及び解題」	三一七	静岡一三〇三	大洞院	『曹洞宗報』	九四五
二〇一四年十一月	「文化財調査委員会 調査目録及び解題」	三一九	長野四二五	真光寺	『曹洞宗報』	九五〇
二〇一四年十一月	「文化財調査委員会 調査目録及び解題」	三一九	長野四二七	靈松寺	『曹洞宗報』	九五〇
二〇一四年十一月	「文化財調査委員会 調査目録及び解題」	三一九	長野四二八	大澤寺	『曹洞宗報』	九五〇
二〇一四年十一月	「文化財調査委員会 調査目録及び解題」	三一九	長野四二九	天正寺	『曹洞宗報』	九五〇
二〇一四年十一月	「文化財調査委員会 調査目録及び解題」	三一九	長野四三〇	長谷寺	『曹洞宗報』	九五〇
二〇一五年 一月	「文化財調査委員会 調査目録及び解題」	三二〇	島根二七二	聖徳寺	『曹洞宗報』	九五二
二〇一五年 一月	「文化財調査委員会 調査目録及び解題」	三二〇	島根三二〇	興海寺	『曹洞宗報』	九五二
二〇一五年 一月	「文化財調査委員会 調査目録及び解題」	三二〇	島根三三二	興源寺	『曹洞宗報』	九五二
二〇一六年 一月	「文化財調査委員会 調査目録及び解題」	三二七	島根三二七	竜雲寺	『曹洞宗報』	九五二
二〇一六年十一月	「文化財調査委員会 調査目録及び解題」	三三二	島根三一五	永明寺	『曹洞宗報』	九七四

【宗報表紙解説・洞門の祖師】

二〇〇八年 一月	月泉良印禪師画像	秋田県補陀寺所蔵(補陀寺開山)	『曹洞宗報』	八六八
二〇〇八年 二月	不見明見禪師画像	山口県海潮寺所蔵(海潮寺開山)	『曹洞宗報』	八六九
二〇〇八年 三月	梅山闇本禪師画像	福井県龍澤寺所蔵(龍澤寺三世)	『曹洞宗報』	八七〇
二〇〇九年 一月	月舟宗胡禪師画像	石川県大乘寺所蔵(大乘寺二六世)	『曹洞宗報』	八八〇
二〇〇九年 二月	東臯心越禪師画像	茨城県祇園寺所蔵(祇園寺開山)	『曹洞宗報』	八八一
二〇〇九年 三月	独菴玄光禪師画像	駒澤大学禅文化歴史博物館所蔵(皓台寺四世)	『曹洞宗報』	八八二
二〇一〇年 九月	衡田祖暈禪師画像	新潟県慈光寺所蔵(慈光寺二九世)	『曹洞宗報』	九〇〇

二〇一〇年	十月	明庵哲了禪師画像	長野県貞祥寺所蔵(貞祥寺二〇世)	『曹洞宗報』九〇一
二〇一一年	十一月	仏洲仙英禪師画像	鳥取県景福寺所蔵(景福寺三三世)	『曹洞宗報』九一四
二〇一一年	十二月	甘雨為霖禪師画像	福井県永建寺所蔵(永建寺四一世)	『曹洞宗報』九一五
二〇一二年	四月	湛元自(祖)澄禪師画像	長崎県皓台寺所蔵(皓台寺六世)	『曹洞宗報』九一九
二〇一二年	五月	呉雲法曇禪師画像	茨城県祇園寺所蔵(祇園寺二世)	『曹洞宗報』九二〇
二〇一三年	六月	蘭山道昶禪師画像	茨城県祇園寺所蔵(祇園寺三世)	『曹洞宗報』九三三
二〇一三年	七月	蔵山良機禪師画像	岡山県円通寺所蔵(円通寺三世)	『曹洞宗報』九三四
二〇一三年	九月	無隠道費禪師画像	山口県大寧寺所蔵(大寧寺三三世)	『曹洞宗報』九三六
二〇一四年	四月	大樹宗光禪師画像	静岡県静居寺所蔵(静居寺二世)	『曹洞宗報』九四三
二〇一四年	五月	天翁全補禪師画像	福岡県安国寺所蔵(安国寺開山)	『曹洞宗報』九四四
二〇一四年	六月	万嶺賀竹禪師画像	群馬県孝顕寺所蔵(孝顕寺二世)	『曹洞宗報』九四五
二〇一五年	四月	古澗仁泉禪師画像	岡山県法泉寺所蔵(法泉寺開山)	『曹洞宗報』九五五
二〇一五年	五月	竹印光忠禪師画像	愛知県常光寺所蔵(常光寺二世)	『曹洞宗報』九五六
二〇一五年	六月	寂用英順禪師画像	静岡県太梅寺所蔵(太梅寺二世)	『曹洞宗報』九五七
二〇一六年	一月	弥天一州禪師画像	大阪府東光院所蔵(東光院四世)	『曹洞宗報』九六四
二〇一六年	二月	晋嶺尖堯禪師画像	群馬県孝顕寺所蔵(孝顕寺開山)	『曹洞宗報』九六五
二〇一六年	三月	黄山曇龍禪師画像	静岡県崇信寺所蔵(崇信寺二三世)	『曹洞宗報』九六六
二〇一七年	一月	仁峰泰鱗禪師画像	駒澤大学文化歴史博物館所蔵	『曹洞宗報』九七六
二〇一七年	二月	日山海東禪師画像	駒澤大学文化歴史博物館所蔵	『曹洞宗報』九七七
二〇一七年	三月	実山禅心禪師画像	三重県養泉寺所蔵(養泉寺開山)	『曹洞宗報』九七八

*右の分類は便宜的なものである。また巻頭言等の小論は略した。